

一般会計をグラフでみてみよう

＼令和4年度 6会計の決算を認定／

		歳入	歳出	差引額
一般会計		363億1,254万円	353億3,768万円	9億7,486万円
国民健康保険事業特別会計		47億2,355万円	49億6,376万円	△2億4,021万円
後期高齢者医療特別会計		6億4,774万円	6億3,651万円	1,123万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計		3,999万円	3,534万円	465万円
介護保険事業特別会計	保険事業勘定	55億2,302万円	52億2,360万円	2億9,942万円
	サービス事業勘定	5,814万円	5,814万円	0円
水道事業会計	収益的収支	6億6,282万円	6億5,941万円	341万円
	資本的収支	4,892万円	4億2,981万円	△3億8,089万円



【認定第1号 一般会計歳入歳出決算の認定について】討論

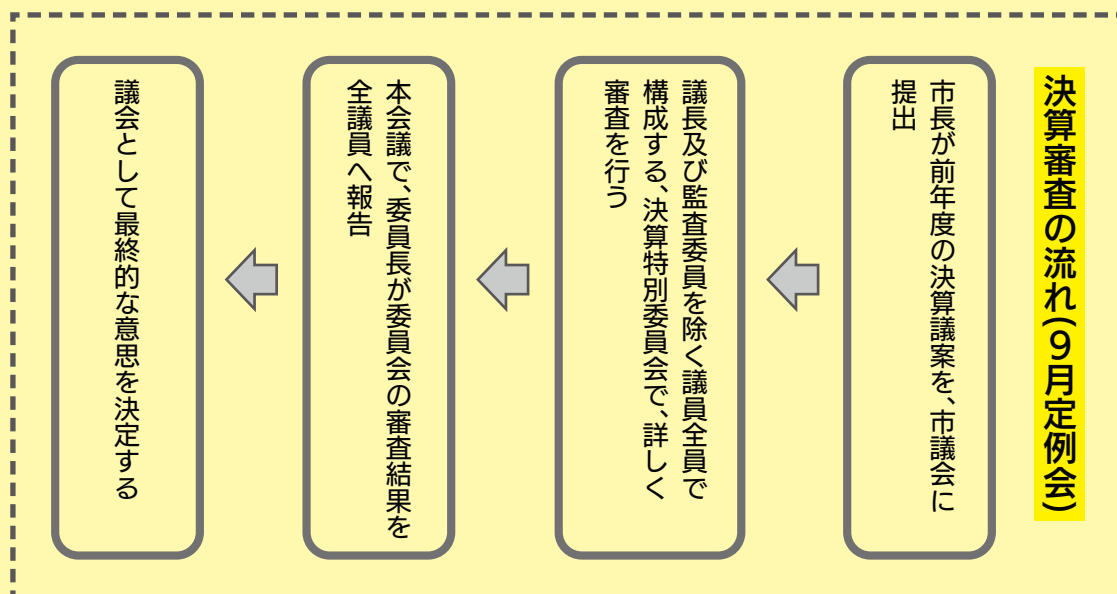
今後、債務総額は莫大なものになる。この状態を改善するためには現在計画している稲築地区公民館、小さな拠点施設建設、工業団地造成をストップするか、施設の統廃合をするしかない。施設の統廃合は待ったなしであると指摘しておき今回の決算収支を賛成する。

【認定第1号 一般会計歳入歳出決算の認定について】討論

令和4年の決算のもと、今後の大型公共工事を見込んだ上での財政分析を早急に専門家に依頼すべきである。市の財政は一刻も猶予はない。今後、行財政改革に関する調査特別委員会等の中で市の財政分析について早期に議論をする必要がある。以上のことを要請し、令和4年度一般会計決算については賛成する。



※反対の意見はありませんでした。



厳

し

い

財

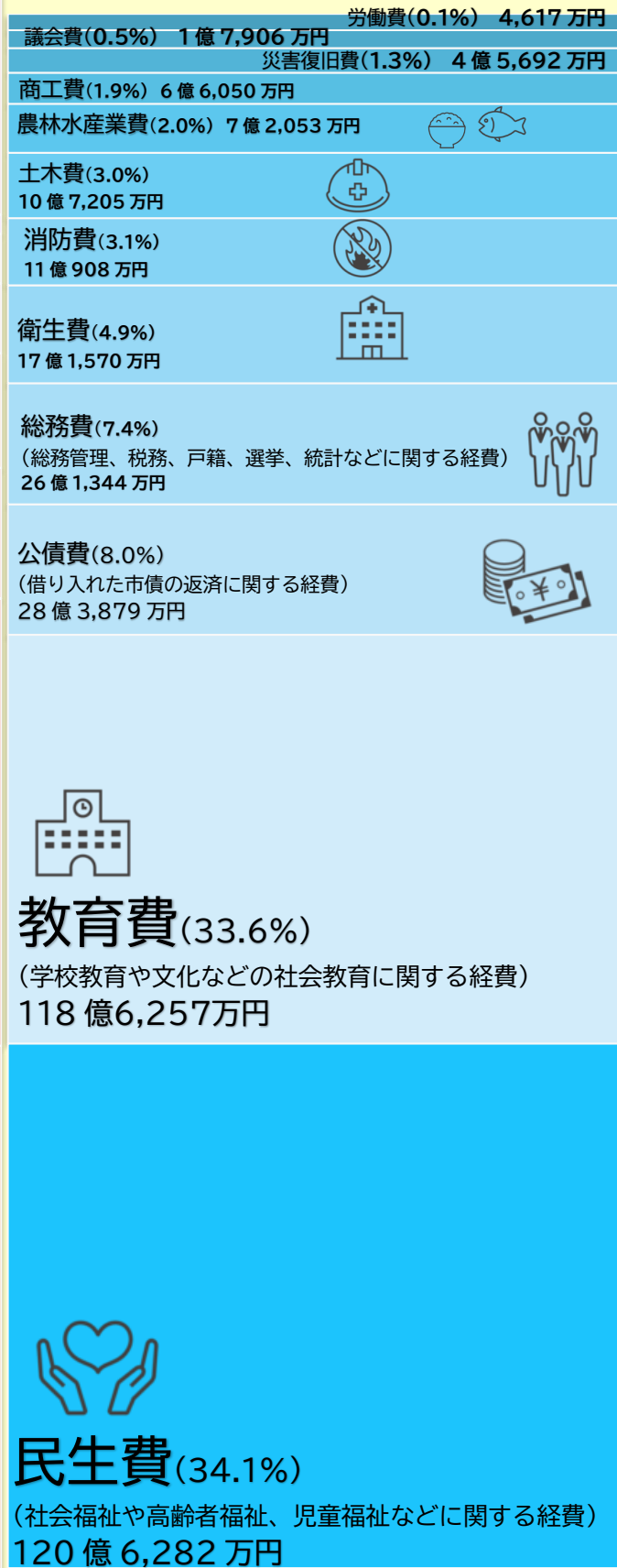
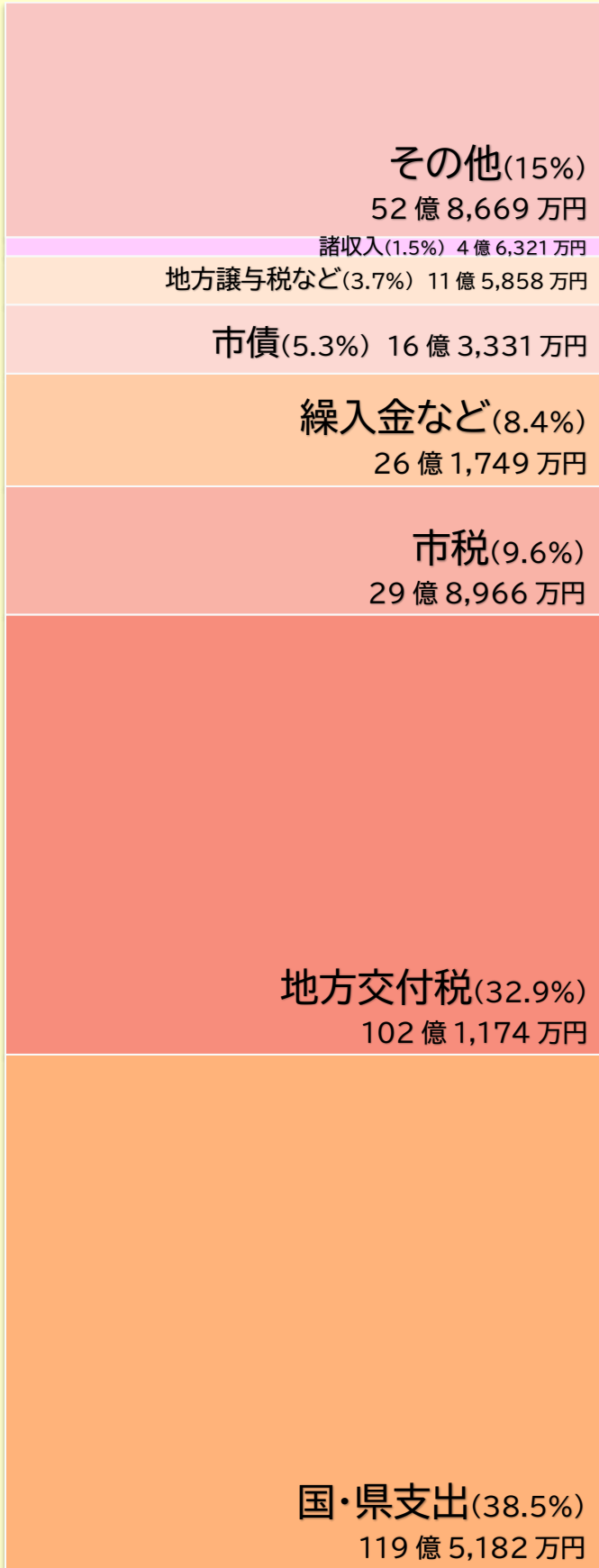
政

状

況

歳入 (入ってきたお金)

歳出 (使ったお金)



9月7日・8日の2日間、決算特別委員会を開催し、令和4年度の一般会計他5会計の決算審査を行いました。市は、財政状況について次のように説明しました。物価高騰、人口減少に伴う税収確保の厳しさ、事業に要した起債の償還や社会保障費の増大など、今後も引き続き厳しい状況が見込まれます。新たな財源の確保を図るとともに、事業の見直しや経費の削減を図り、住民の福祉の向上に努めていきたいと思ひます。